＜様式１１－１＞

令和4（2022）年度

学　童　ク　ラ　ブ　事　業　年　間　活　動　報　告　書

山階児童館

	活動の基本目標（指針）	主　な　取　組　名	成　　果　　と　　課　　題
	安全・衛生の確保	避難訓練	・火災・地震・不審者対応の想定で毎月机上学習や避難訓練を行うことができた。 ・夏には消防署職員に来ていただき、火災の想定で子どもや職員の動きを確認することができた。 ・職員研修として警察署職員に来ていただき、不審者対応の実技訓練と講義を受けた。 ・水害時の避難場所である山科身体障害者会館へ1年生を連れて行ったり、地域の方から実際の水害被害の写真をお借りし、子どもたちに話をすることでより現実味のある訓練となった。
		交通安全教室	・山科警察署の方に交通ルールを紙芝居などを活用して指導をしていただき、子どもたちもわかりやすく話を聞くことができた。
	健康の管理・情緒の安定	子どもの状況等の把握	・ほとんどの子どもが連絡帳を持ってきている。引き続き、出席確認や提出物のやり取り、また館と家庭を繋ぐ大切なツールであるという意識づけをしていく必要がある。 ・出欠確認や帰り方の確認を丁寧に行った。保護者が合同保育時の準備等、意識しやすい表現となるように配慮した。 ・ストレスを抱えたり気持ちが不安定になっている子どもへも丁寧にかかわった。
		手洗い・うがいの励行	・例年以上に丁寧に子どもたちへの声かけや確認を行い、特に食事・おやつ前はほぼ定着させることができた。一部の子には外遊びの後など個別に声をかけないと忘れがちなこともあった。分室は手洗い場が離れているため、職員が見守り、手洗いの声掛けなどで定着させることが出来た。 ・ハンカチをもってきていない子、外付けポケットをロッカーに入れていて面倒がって使わない子などが見受けられた。引き続き、手洗い後はハンカチで手を拭くことを習慣化できるよう家庭と連携して声掛けを続けていく必要がある。
		手指の消毒	・帰宅後や外遊び後はもちろんだが、特に飲食前に消毒を行った。子どもたち自身も習慣として身についている子が多くいた。本館についてはうっかり忘れる子どもへの声掛けが行き届かない場合もあった。分室では子ども同士で声をかけている場面も見られた。
	基本的生活習慣の確立	挨拶の励行	・多くの子どもが自然に挨拶できている。「ありがとう」「ただいま」等もしっかり言える子が増えている。引き続き、自ら挨拶できる雰囲気づくりを大切にしていく。
	社会生活技術の獲得	当番活動	・司会、お誕生会実行委員、お帰りの会での連絡帳配りを分担した。 ・当番表を頼りに自分の役割を意識し、進んで当番活動に取り組む子が増えてきている。一方で、やりたい役割のみを楽しみにして張り切り、思い通りにできないことに不満を言い続けたり、お当番をやりたい気持ちが強いことで、担当の子どもが欠席の時に誰が当番をするのかでケンカが起きることもあったので進め方を検討する必要がある。分室はリーダー役の3年生が少なかったこともあり4年生や2年生がやる気を持って進めることもあった。
子ども育成機能	生活体験の拡大	歓迎会	・節目の行事で子どもたちの気持ちにも区切りとなる流れで取り組むことができた。 ・実行委員の3年生は、中心となり進行するよい経験とし、担当の役割を責任感をもってがんばることができた。
		机の片付け指導	・１年生に危なくないよう指導をするとともに、職員だけではなく、ボランティアの方も声掛けを行い、個々のペースに合わせながら自分たちで用意ができるようになった。
		新入会児童説明・案内	・朝の勉強時間を利用して、ルールや遊び道具、部屋やトイレの場所などを説明し覚えてもらうことができた。
		歓迎会実行委員会	・新しく仲間になる1年生のことを考え、意欲と思いやりをもって準備や練習、進行に取り組むことができた。
		お誕生会実行委員会	・2年生がお誕生会の準備・司会進行を行った。事前の話し合い等、楽しみにしておりやる気をもって取り組めた。
	社会性の養成	お誕生会	・感染症対策のため、お帰りの会の直前に短時間で行う。短時間のため子どもたちの負担が少ない反面、お誕生会事態の形骸化が目立った。 ・2年生が実行委員として自分たちで役割分担をして進行をする等主体性を発揮できる機会となっている。 ・誕生会のおやつは、普段とは違う特別感のあるものを提供し、当日欠席していた子へも後日配付した。
		おりがみあそび（分室）	・本館でのおりがみクラブと同じ内容のものを分室でも行う。当日の状況により参加人数の変動があったが、クラブが平日開催のため分室の子どもたちも季節にそった作品を作り楽しんで活動することができた。折り図を見て自分で進める子も増えた。おりがみクラブと同様に作った物を掲示してご家族にも見てもらえるう機会を作った。
		けん玉検定	・初めての検定として自分なりの目標をもってがんばっていた。検定への参加は自由だったので、意欲的な子とそうでない子の差が見られた。さらに職員の声掛けや、検定に向けての雰囲気づくりなど工夫も必要。
		3年生会議	・3年生としての自覚をもち日々の生活の中で役割を果たしていた。遊びのルールについてじぶんたちで考えたり、問題提起をするなど、自発的に発言する姿も多くあった。分室では休会者も多く話し合う場を持つのが難しい面もあった。
	自立の促進と自主性の尊重	七夕飾り作り（分室）	・おりがみなどで七夕飾りを作って一緒に飾り、季節の行事を楽しめた。
		お弁当いらないDAY	・夏休み・冬休みと実施。夏休みは保護者会と連携し、弁当作りの負担軽減になると保護者からも好評で、子どもたちもわくわくしていた。
		特別検定	・休会者や普段授業などで検定を受けられなかった上級学年を対象に行う。子どもたちは再度検定を受けられることに喜んで級を伸ばす子も多かったが、公平さを期するために次年度は対象者を決めるうえで検討が必要。
		本のPOP作り	・夏休み期間中に希望者のみで作る。今回は、自分が気に入っている本を紹介するためのPOP作りをする。絵を描いたり紙を切り貼りして、どうすれば相手に本の良さが伝わるかを工夫する姿がみられた。
		こま検定	・練習を自発的に促すために練習した日はシールを貼って見える化するなどの工夫をした。 ・練習でできていた技も検定ではできず悔し涙を流す姿も見られたが、それぞれの努力や頑張りを認めながら、学童ならではの取組ができた。

		ハロウィンリース作り（分室）	・本館の児童館事業と同じ内容のものを分室でも行う。楽しみにしていた子もいて、季節を感じる取組に参加していた。貼り方や顔など、こだわりオリジナルのリースを作って持ち帰る。
		干支の貼り絵づくり（分室）	・毎年恒例である干支の貼り絵をまなび教室の方と連携し行った。自分の分だけでなく、いつもお世話になっている地域の方へのお礼を込めて、丁寧に作成することができた。
		モシカメ記録会	その日の調子によって記録も様々だったが、みんな集中して記録会に挑んだ。周りも真剣に友だちを応援したり、ベストスコアが出ると友だち同士喜び合う姿も見られた。
		リベンジ検定	・年度内最後の検定なので、少しでも記録を伸ばせるようがんばっている子が多かった。部屋が騒がしい中で行うため集中するのには難しいこともあったが、記録伸ばせたときに次への目標を持つ様子があった。今後は「どうせできない」「苦手」と感じている子どもたちへも頑張りが実るような働きかけと達成できる喜びを感じられる工夫を行っていきたい。
		新３年生会議	・学童クラブの中心を担う新3年生リーダーとしての心構えをもってもらう機会にした。会議ではどんなことを頑張るか等具体的に意見を出し合った。また、新入会児童を迎えるにあたっての準備として担当に分かれ、それぞれの行事の企画・準備・進行をやり遂げることができ自信につながった。
		ミニおわかれ会	・学童クラブを退会する子どもたちの紹介をし、学童での思い出を共有しあった。感染対策のため、本館は山科青少年活動センターを借り、分室はお帰りの会前に実施した。退会する子の挨拶のあと、本館ではみんな遊びを実施したが、みんな遊びの機会もあまりなかったこともあってか参加することに対して消極的な児童や支援の必要な児童へのフォローが不十分であり、今後の課題となった。分室はみんなの前に立ってもらいお別れの挨拶を行った。
		マラソン大会（本館）	・3年生が自発的に計画し、職員に相談しながら実施。申し込みの呼びかけや当日の運営、表彰状作りなど、楽しく子どもたちで活動することができた。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	あそびボランティア	・年間を通して地域の方が来てくださっていた。子どもたちも親しみを感じ、職員だけでなく色々な人たちに育ちを支えられていることを感じる機会になっている。
		子育て相談	・子どもの様子や子育てなどについて話を窺い、児童館の様子などを伝え、保護者の方と子どもの様子を共有しあうことができた。
		学級担任との懇談	・児童館の様子や学校の子どもたちの様子を共有しあうことができた。分室はその後も様子のやり取りをさせていただくことがあり、学校での様子を知り子どもへの関り方に工夫ができた。
		個人懇談	・新規入会者と希望者を対象に6月、その期間休会していた家庭で希望する家庭は個別に連絡をとり、懇談の希望の有無を調査する。保護者と時間をもち子どもの様子を話し合い、その後の保育等に生かすことができている。また、保護者と信頼関係を築ける場となった。
		入会説明会	・子どもたちの生活の流れや活動について説明を行うことで、安心して預けてもらえる土壌作りを行った。 ・個別相談に応じることで、保護者の不安感を少しでも取り除けるようにした。また、帰宅ルートの確認をしていただけるよう地図を用意し、周知に努めた。
		保護者懇談会	・感染対策のため対象家庭を絞り、年3回、保育場所別でできるだけ時間を短縮して実施。おたよりでは伝えきれない日常の子どもたちの様子や成長・課題について、また、長期休業中の行事予定や生活について話をした。
		保護者会役員会	・保護者会役員会に職員が出席し、保護者との交流を図り、保護者会活動の援助を行った。総会は引き続き書面決議だったが、役員会は定期的に開催されており、今後の保護者会について前向きな変更点も多くあった。
	子育ての仲間づくり	学童クラブ申請説明会	・WEBでの申請が可能となったことで、例年と違った申請方法となることを継続家庭の保護者対象に伝える。申請手順を書面に工夫してまとめ、保護者に配布することで希望者のみが参加された。
		学童クラブ登録説明会	・新規入会者全家庭を対象に児童館・学童クラブの概要やWEB申請の説明会を行う。登録のことだけではなく、児童館・学童クラブのことを知っていただく機会となった。
		保育所担任との懇談	・児童館の様子や保育所の子どもたちの様子の情報を共有することができた。
	子育てを支えるネットワーク形成		

令和4（2022）年学　童　ク　ラ　ブ　事　業　年　間　活　動　報　告　書

山階児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合　計	内　容
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
子どもの状況等の把握	毎日														保護者・学校等と連携し、子どもの状況等の把握に努めた。
手洗い・うがいの励行	毎日														手洗い・うがいを習慣づけるよう声かけをし、またハンカチの持参についても声かけを行った。
手指の消毒	毎日														特に飲食前に必ず手指の消毒を行った。また、感染症対策のため年間を通して黙食を指導した。
挨拶の励行	毎日														自ら進んで挨拶できるように声かけを行った。
当番活動	毎日														連絡帳配り、お帰りの会の司会を活動を行う。
避難訓練	18	263	217	146	29	7	4	9	1			6	2	684	地震、火災、水害、不審者対応などを想定して避難訓練を実施する。
交通安全教室	2	32	28	18	5	3						1		87	山科警察署の方に交通ルールについて紙芝居などを使ってご指導いただく。
子ども育成機能															
歓迎会	2	34	31	25	4	2	1					2		99	１年生を迎え入れる節目の行事として、新入会児童・実行委員・当日保育の学童児参加のもと歓迎会を行った。
机の片付け指導	2	36												36	１年生に机の出し方や片付け方などを職員や上級生たちが教えた。
新入会児童説明・案内	1	10												10	児童館内や遊具の使い方等について、説明・案内を行った。
歓迎会実行委員会	3			20	2									22	歓迎会の役割分担について話し合い、練習や準備をおこなった。
お誕生会実行委員会	20		101											101	２年生実行委員が当日の役割分担や事前準備等を行った。
お誕生会	24	384	335	223	49	13	7					6	1	1018	２年生が実行委員として司会・進行を担当し、誕生月の児童を祝った。
おりがみあそび（分室）	19	38	35	5	3									81	児童館事業のおりがみクラブと同じ内容の物を分室でも行う。
けん玉検定	12	112	58	28	18			1						217	目標を定めて、上の級を目指してこま検定に取り組んだ。
3年生会議	4			69										69	１年間を通してリーダーとなる３年生の自覚を促し、3年生の役割と責任について話し合いをもった。
七夕飾り作り（分室）	1	10	3											13	分室でも折り紙などで七夕飾りや短冊を作くる。
お弁当いらないDAY	6	110	97	75	26	13	10							331	保護者の弁当作りの負担軽減のため、夏休み、冬休みに実施。保護者会とも連携をして行う。
特別検定	10		4	13	1	4	5	1						28	3年生以上と休会していた児童を対象に対して夏休みに実施。
本のPOP作り	4	4	8	2	1									15	お気に入りの本を紹介するためのPOPを作る。
こま検定	11	96	38	13	15			1						163	目標を定めて、上の級を目指してけん玉検定に取り組んだ。
ハロウィンリース作り（分室）	7	17	12	1	2									32	児童館事業で行った取組と同じものを分室でも行う。
干支の貼り絵づくり（分室）	12	36	24	1	9									70	全員参加してお世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを込めて作りプレゼントする。自分用も作り持ち帰る。
モシカメ記録会	11	55	39	21	7		4	4				1		131	けん玉の技の一つであるモシカメに挑戦した。
リベンジ検定	6	33	19	8	1									61	今年度受けたすべての検定に再度挑戦できる機会を作った。日によって種目を決め、一年間の最後の記録を残せるようにした。
新３年生会議	2		58											58	4月からリーダーとなる3年生としてのイメージを共有し,どんな上級生になりたいのかを話し合った。
ミニおわかれ会	1	38	25	20	5		1					1		90	学童を退会する子どもたちの紹介と挨拶、みんなあそび等を行った。
マラソン大会（本館）	1	8	6	8										22	子ども達自ら考えて計画し、どうすればみんなが楽しく参加できるかを考えながら実施できた。
子育て支援機能															
あそびボランティア	275											270	5	275	地域の方が「あそびのボランティア」として継続的に来館し、学童クラブの子どもたちとかかわってくださった。
子育て相談	8												9	9	子どもの様子などについて話を窺った。
学級担任との懇談	5												11	11	学校での子どもたちの様子を窺った。
個人懇談	28	1										1	46	48	１年生保護者を対象に家庭での様子や児童館での様子について共有した。
入会説明会	7												48	48	年度途中入会の方や次年度入会される方を対象にしおりに沿って学童での生活の流れや持ち物、うぇぶさくらアプリについて説明をした。
保護者懇談会	4	6	1					7					175	189	7月、12月、3月にそれぞれ時間を変え２～３回実施。3月の懇談会ではうぇぶさくらアプリの使い方等についても説明した。
保護者会役員会	2	2	1	1				1					22	27	子どもの様子や行事について共有した。
学童クラブ申請説明会	1							1					5	6	次年度継続される家庭対象にICT化に伴う申請方法について説明した（希望された家庭のみ）。
学童クラブ登録説明会	2												44	44	次年度新入会される家庭対象にICT化に伴う申請方法について説明した。
保育所担任との懇談	1												3	3	次年度入会される新１年生の様子について窺った。

＊注１　　行事名は，（１）生活援助機能　（２）子ども育成機能　（３）子育て支援機能に分類して記入すること
＊注２　　２クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること